

# 第 57 回稲城市民スポーツ・レクリエーション大会

## ソフトボール競技実施要項（別紙）

### 1 競技主管：稲城市ソフトボール連盟

大会管理：連盟役員が当番制で大会本部役員を担当し、大会を管理し運営の責任を負う。

連盟役員の当番日は監督会議時において決定する。

### 2 試合形式

- 1部および2部：各チーム総当りリーグ戦  
壮年：トーナメント戦(順位決定戦を含む)  
実年：トーナメント戦

開催日(予定。詳細は監督会議で決定する)

- 9月07日(日) 実年の部  
9月14日(日) 壮年の部(予選)  
9月21日(日) 壮年の部(準決勝、決勝、順位決定戦)  
9月28日(日) 1部リーグ戦  
10月05日(日) 1部リーグ戦  
10月12日(日) 2部リーグ戦  
10月19日(日) 2部リーグ戦

- ・雨天等について：原則順延とする
- ・2部の試合形式について  
総当りリーグ戦を想定しているが、参加チーム数によって、試合形式(リーグ戦/トーナメント戦)を、監督会議にて決める。
- ・勝ち点方式について  
勝ち点方式にて順位決定を行う。(詳細は、8 試合方法 を参照)  
参加出場資格

### 3 参加出場資格

#### ①一般の部

1部・2部ともに男子とする。

稲城市在住、在勤、在学の構成員からなる稲城市ソフトボール連盟に加盟登録されたチーム。

上記以外で連盟が認めた者は選手登録可能とする。

但し、年齢は登録する年(2025年1月1日)以降で15歳以上とする。

連盟未加盟の市民チームの参加希望も受け付ける。ただし、連盟未加盟の市民チームの参加希望があった場合は2部での出場とする。その際、男女混合での申し

込みが合った場合は、安全を考慮して、詳細のルールを監督会議で決定する

## ②男子壮年の部

原則として稲城市在住、在勤の満 39 歳（2025 年 1 月 1 日～12 月 31 日までに 40 歳に到達する）以上の者で構成され、稲城市ソフトボール連盟に加盟登録されたチーム。

連盟未加盟の市民チームの参加希望も受け付ける。

## ③男子実年の部

原則として稲城市在住、在勤の満 49 歳（2025 年 1 月 1 日～12 月 31 日までに 50 歳に到達する）以上の者で構成され、稲城市ソフトボール連盟に加盟登録されたチーム。

連盟未加盟の市民チームの参加希望も受け付ける。

なお、チーム名及びチーム構成員の氏名、大会結果について、市や競技団体ホームページ、体協発行誌で記載することがあるが、登録用紙の提出により、上記取扱いに関するご承諾を得たものとする。

また、住所・氏名等の個人情報、本件の目的以外には一切使用しない。

## 4 ユニフォーム

①一般の部、連盟登録チームは全員のユニフォーム（帽子・アンダーシャツ・ソックスも含めて）大多数の部分が統一されていることとする。

②一般男子の未加盟市民チーム及び男子壮年・実年の部のチームはユニフォームが統一されていなくても良い。ただし背番号等の重複は認めない

③背番号と胸番号をつけること。

監督 30 番、コーチ 31・32、主将 10、他のプレーヤー 1～99

## 5 試合球：ゴム 3 号、コルク芯

## 6 競技規則

日本ソフトボール協会、2025 年度オフィシャルルールによる。

※グラウンド特別ルールの適用あり。

## 7 審判員

日本ソフトボール協会認定公認審判員が球審を行い、各チーム審判員（各チーム 2 名）が塁審を行う

## 8 試合方法

①順位決定

リーグ戦方式の場合は、以下の順番で判定し順位を決定する。

試合結果により勝ち：3 点、引き分け：1 点、負け：0 点。

- 1)勝ち点の多い順に決定
  - 2)勝ち点と同じ場合、勝ち数で決定
  - 3)勝ち点、勝ち数も同じ場合、得失点差決定
  - 4)勝ち点、勝ち数、得失点差も同じ場合、当該対戦チームの勝敗で決定
  - 5)3チーム以上が同じ成績になった場合、抽選により決定
- ②組合せ：抽選会において決定
- ③競技方法および勝敗の決定
- 1)試合時間制限と時間
    - ・試合時間は70分または7回とする。
    - ・但し、試合開始後65分を経過した場合次の回に入らない。
    - ・リーグ戦で同点の場合は、引分けとする。
    - ・トーナメント方式の場合、65分経過後、後攻チームが勝っている場合は終了とする。
  - 2)コールドゲーム
    - ・荒天等によるコールドゲーム  
4回あるいはそれ以上の回が終了したとき、またはこの場合、その回の裏に後攻チームが先攻チームより多く得点したとき、コールドゲームとして正式試合になる。  
また後攻チームが4回裏の攻撃をしなくても、先攻チームより得点が多いとき、コールドゲームとして正式試合となる。  
上記以外は無効試合となるが、この場合サスペンデッドゲームを採用する場合がある。
    - ・得点差コールドゲーム  
3回終了時以降15点差、4回終了時以降10点差、5回終了時以降7点差がついた場合コールドゲームとする。
  - 3)トーナメント方式で同点の場合
    - ・65分を経過した時点で同点の場合、9人による抽選とする。
    - ・7回終了時点で同点の場合で、65分を経過していない場合、タイブレーカー方式を採用する。70分を経過しても決着がつかない場合、両チーム9人による抽選とする。  
(決勝戦の場合、タイブレーク方式を2回まで採用する。それでも決着がつかない場合、両チーム9人による抽選とする。)

- 9 表彰** 各部門、優勝・準優勝・3位を表彰する。  
次大会の各部構成は本大会の結果より、以下の通り再編成する。
- 1部の最下位は2部へ
  - 2部の1位は1部へ
- ただし、未加盟の市民チームについては再編成の対象としない。

## 【大会運営に当たっての申し合わせ事項】

### 1. 集合時間

- ①選手は試合開始時刻の30分前までにはグラウンドに集合し、本部にメンバー表を提出し確認を受ける。  
※登録選手に変更がある場合、同様に30分前までに本部に変更名簿を提出し、確認を受ける。
- ②各グラウンド第一試合のチームは、試合開始時刻の1時間前には集合し、大会本部役員と協同してグラウンドを作る。  
※最終試合の勝利チームは、グラウンド整備・グラウンド撤収を手伝う。
- ③自チームが行う試合の一つ前の試合で、チーム審判員を担当する者は、試合開始予定時刻10分前にはグラウンドに到着し、到着している旨を本部役員に報告する。  
原則として、次試合の1塁ベンチ側のメンバー2名が1塁と2塁の審判員を、3塁ベンチ側のメンバー2名が3塁審判員と得点・ボール係に当たる。  
最終試合は、最終前の試合勝者チームが塁審を担当する

### 2. メンバー表の提出

- ①メンバー表は4枚提出のこと。
- ②試合開始時刻の30分前までに大会本部に提出すること。ただし試合が連続する等の理由で、そうできない場合はできるだけ速やかに提出する。

### 3. 競技中の遵守事項

- ①試合中、用具類はベンチ内に入れ、フェア地域に放置しないこと。
- ②言動に注意し、特にやじる等、相手方プレーヤーに対する非難等は絶対にしてはならない。
- ③審判員の判定に対し、クレーム等をつけることをしてはならない。  
※抗議は監督のみ行えるが、ルール解釈の誤り・ペナルティー適用の間違い・相手チーム選手の資格等についてのみである。  
※監督不在の場合は監督代行者をメンバー表に記載の上、大会本部に届け出ること。
- ④試合中、プレーに携わる時以外はベンチから出ないこと。  
但し、ピッチャーのピッチング練習についてはベンチを出てもよい。  
※ベンチ内は禁煙、試合中にベンチを出て喫煙することも禁止。
- ⑤金属製及びセラミック製スパイクの使用は禁止する。
- ⑥打者、次打者、走者は両耳ヘルメットを着用のこと。(コーチも事故防止上、ヘルメットを着用することが望ましく、ヘルメットに余裕がある場合は着用する)
- ⑦捕手は事故防止のためにヘルメット・スロットガード付きマスク・レガース・ボデープロテクタを着用する
- ⑧試合を妨げるような練習及びグラウンド内の練習は禁止とする。
- ⑨勝利チームは、試合終了後、グラウンドを整備する。
- ⑩チーム審判員の交代は事故の場合を除き、インニングの途中に行わないこととし、交

代の際は必ず球審に告げる。

#### 4.大会本部役員の役割

- ①本部役員は第1試合開始予定時刻の1時間30分前にはグラウンドに集合し、椅子やテーブル、その他の試合運営に必要な備品を設営する。
- ②全試合終了後は本部撤去作業を行う。
- ③イニング毎の得点を専用記録紙に記録し、試合結果を確認する。
- ④全試合終了後、試合結果を記録した記録紙を書記に引き渡す。
- ⑤試合前には、提出されたメンバー表に記載の選手が登録メンバーであることを確認し、その1枚を本部に保管し、3枚を球審に渡す。
- ⑥試合中は、試合時間を管理し、所定の試合時間に近づいた場合は、試合を続行するか終了とするかを大会実施要領にしたがって判断し球審に伝える。  
試合終了後、試合結果を記録した記録紙をファイルにとじて備品と共に収納する。
- ⑦ 試合結果（点数・勝敗）を書記に必ず報告すること。（連絡方法は当番表参照）
- ⑧ 登録用紙については、関係者以外には開示せず、散逸しないよう保管に留意すること。

#### 5. A面のグラウンド特別ルール

ゴロの打球がライト側河川に入った場合、ボールデッド・2塁打とする。  
飛球が直接河川に入った場合、ホームランとする。  
但しホームランネットを敷設する場合は、ルールに則り判定する。

#### 6. B面のグラウンド特別ルール

ゴロの打球がライト側土手に、入った場合、ボールデッド・2塁打、飛球が直接土手に入った場合は、ホームランとする。

---